

生物多様性保全と地域共生活動の紹介



一般社団法人 日本電機工業会 九州支部

環境委員会

【目 次】

1. 事例掲載企業の拠点	2
2. 愛知目標との関連性	3
3. 各社事例紹介	6

～はじめに～

昨今、環境に対する関心が高まり続ける中、日本電機工業会（通称：JEMA）九州支部 環境委員会では、「低炭素社会の構築」「循環型社会の構築」「環境保全と自然共生社会の構築」を環境活動の重要テーマとしてとらえています。

九州支部の活動としては、会員企業が定期的に集まって委員会を開催し、環境分野全般に関して情報交換を行い、各社の環境活動の活性化に努めてきました。

近年、生物多様性を含む社会的な課題に関して国連が採択した「持続可能な開発目標（SDGs）」が話題となっており、環境マネジメント規格 ISO14001 改訂版においても環境保護に対するコミットメントを環境方針に含める事が要求されるなど、企業にとって生物多様性に関わる取り組みを行うことがますます重要になっています。

このような背景のもと、当委員会では事例集の第1版を発行することとなりました。

この事例集が当地域の企業をはじめとする皆様の環境保全活動の一助となり、九州地域の自然環境の維持につながれば幸いです。

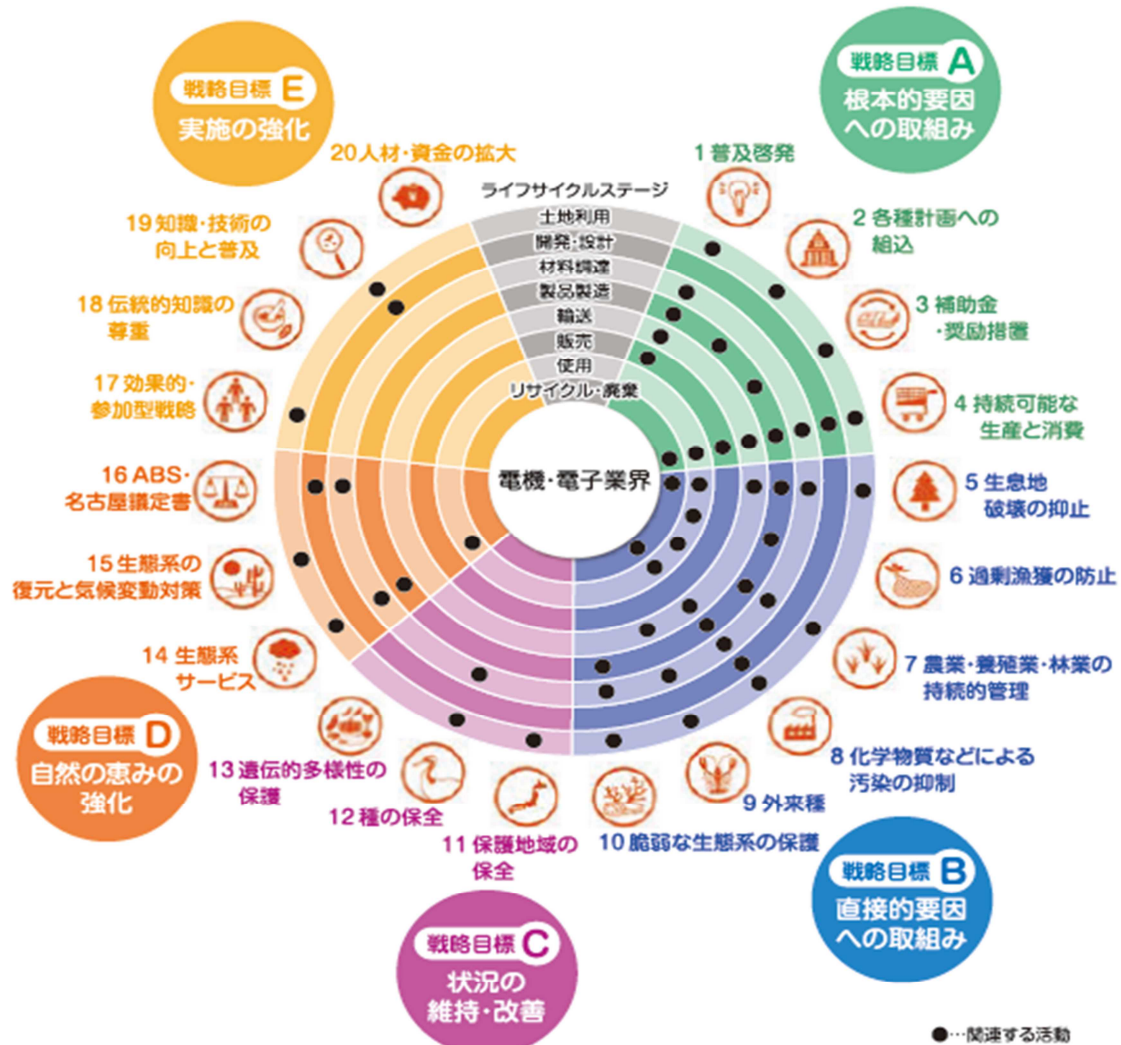
1. 事例掲載企業の拠点



No.	会社・事業所名	
①	九電テクノシステムズ株式会社	(福岡県福岡市)
②	株式会社キューヘン	(福岡県福津市)
③	西部電機株式会社	(福岡県古賀市)
④	株式会社正興電機製作所	(福岡県福岡市)
⑤	株式会社戸上電機製作所	(佐賀県佐賀市)
⑥	株式会社安川電機	(福岡県北九州市)
⑦	一般社団法人日本電機工業会 九州支部	(福岡県福岡市)

2. 電機・電子業界の生物多様性保全活動と愛知目標の関連性

愛知目標の20の個別目標と電機・電子業界における環境保全活動、ならびに生物多様性保全活動の関連性を土地利用、研究開発・設計、材料調達、製品製造、輸送、販売、使用、回収・リサイクル・廃棄といった事業活動のライフサイクルステージ毎に整理し、20の個別目標のうち17項目に関連することを明らかにしました。（下図参照）



電機・電子業界の生物多様性保全活動と愛知目標の関連性

* 図中の●印（関連する活動）は、直接的・間接的な影響やそれぞれの影響度合いの大きさを区別せず、何らかの関連がある場合にプロットしています。従って、●印の数が関連の大きさを表すものではありません。

具体的な行動事例

愛知目標の20の個別目標について、特に当業界の事業活動と関連の深い8項目についての行動指針、およびJEMA九州支部環境委員会登録企業の取り組み事例を掲載します。様々な取り組み事例を紹介しておりますので、ぜひご活用ください。

* P3、4は電機・電子4団体環境戦略連絡会生物多様性ワーキンググループ「電機・電子業界における生物多様性の保全にかかわる行動指針」を引用・参照し作成した。

電機・電子業界における生物多様性の保全に関わる行動指針

愛知目標		行動指針	S D G s
目標 1 普及啓発	人々が生物多様性の価値と行動を認識する	生物多様性を保全することの重要性が広く認知されるように、従業員への生物多様性に関する教育を積極的に推進する。また、取組み状況の情報発信やステークホルダーとの連携を通して、社会の意識向上に貢献する。	 
目標 4 持続可能な生産と消費	すべての関係者が持続可能な生産・消費のための計画を実施する	持続可能な生産及び消費の実現に向け、各ライフサイクルステージにおいて、自社の生産活動やサプライチェーンも含めて以下の活動を積極的に推進する。 ■ 低炭素社会実行計画に則した取組みの推進 ◎生産プロセスにおける CO2 排出抑制の継続的取組み ◎低炭素社会の実現に資する製品・サービスの供給 ■ 環境自主行動計画（循環型社会形成編）に則した取組みの推進 ◎廃棄物最終処分量の削減 ◎3R（リデュース・リユース・リサイクル）活動 ■ 直接的に生物多様性保全に資する取組みの推進 ◎生物多様性に配慮した原材料調達など	  
目標 5 生息地破壊の抑止	森林を含む自然生息地の損失が少なくとも半減、劣化・分断が顕著に減少する	生息地の保護ならびにその劣化と分断を低減するために、生物多様性に配慮した事業所の緑地管理や社会貢献活動、周辺地域における生態系ネットワークの構築などを積極的に推進する。	
目標 8 化学物質などによる汚染の抑制	化学物質・肥料・農薬の汚染を有害でない範囲まで抑える	生態系や生物多様性にとって有害な汚染を防止するため、グローバル視点で化学物質の適正管理に努め、生態系への悪影響を積極的に抑制する。	
目標 9 外来種	侵略的な外来種を制御し、または、根絶する	侵略的外来種による影響を防除するため、主に製品の輸送時や事業所の緑地管理、社会貢献活動などにおいて、侵略的外来種の駆除や侵入の防止、ならびに意識啓発を積極的に推進する。	
目標 1 1 保護地域の汚染	少なくとも陸域の 17%、海域の 10%を保護地域などにより保全する	生物多様性にとって重要な保護地域の面積拡大のため、社有地や事業所における保護地域に資する生物多様性に配慮した緑地管理や、社外の保護地域における保全活動を積極的に推進する。	 
目標 1 4 生態系サービス	自然の恵みをもたらす生態系が回復・保全される	生態系サービスが持続可能な形で利用できるように、生態系の保全・回復活動を積極的に推進する。	 
目標 1 9 知識・技術の向上と普及	関連する知識・科学技術を改善する	生物多様性に関する知識、科学的基盤、及び技術の向上を目指し、情報通信技術を使ったモニタリング技術の開発と普及、生物多様性モニタリングによるデータ蓄積などを積極的に推進する。	

～各社の事例紹介～

《目次：全6事例》

会社・事業所名 事例：No. タイトル	項
九電テクノシステムズ株式会社 No. 1 「地域清掃活動の実施及び省エネ製品・サービス等の提供」	6
株式会社キューヘン No. 2 「地域環境活動を通じた地域共生と生物多様性への貢献」	7
西部電機株式会社 No. 3 「桜の木植樹による地域貢献活動」	8
株式会社正興電機製作所 No. 4 「清掃活動による地域貢献」	9
株式会社戸上電機製作所 No. 5 「清掃美化活動」	10
株式会社安川電機 No. 6 「FSC 認証紙の採用拡大」	11

事例 No. 1

会社名：九電テクノシステムズ株式会社

タイトル：地域清掃活動の実施及び省エネ製品・サービス等の提供

活動事例 概要

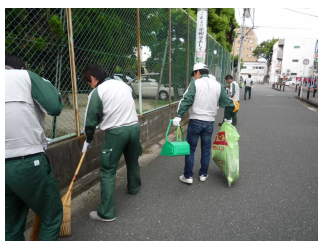
- 地域貢献及び環境保全活動の一環として、当社を含む近隣 3 社及び地元町内会の方々と合同で、町内周辺の清掃奉仕活動を実施しています。
- また、低炭素社会の実現に資する製品・サービスの提供も行っており、これらの活動は、地球温暖化や気候変動を緩和し、生物多様性の保全にも寄与するものと考えます。

取組みのきっかけ・背景、苦労した点

- 地球温暖化や廃棄物問題などが社会問題となる中、2002 年度（平成 14 年度）から、近隣 3 社と町内会の合同による清掃奉仕活動を実施しています。合同にすることで、参加者が増え清掃範囲が広がり、社外の方との交流もあることから、環境保全はもちろんのこと地域貢献の大切さを実感できる活動となっています。
- 当社では電力の運用に関わる多くの製品・サービスを開発・提供してきました。それらのノウハウを活かし、電力の有効活用やCO₂削減につながる製品・サービスを提供しています。

活動事例の説明

- 毎年 9 月の町内会の清掃活動日（第一土曜日）に合わせ、町内約 500m 四方の道路、公園、神社の清掃活動を実施しています。毎年 200 名近くの参加者があり、地域の方にも喜ばれる活動になっています。また、年数回、当社単独での会社周辺道路の清掃活動も実施しています。
- 低炭素社会の実現に向けて、電化や省エネは有効な手段の一つです。そのため、当社では、電気自動車（EV）用充電器やデマンドコントロール装置などの製品・サービスを提供しています。
- 循環型社会の実現に向けて、計器（電力量計）のリサイクル事業を実施しています。これは、九州電力㈱の工事等で発生した不用計器を当社で分解、分別し、再資源化するための取組みです。



清掃活動



EV 用充電器



不用計器

メッセージ

当社の経営理念には「快適で環境にやさしい社会の実現」「地域・社会に信頼される企業」という言葉が掲げられています。生物多様性の保全に関しても更に活動の幅を広げ、社会に貢献できる企業を目指してまいります。

事例 No. 2

会社名：株式会社キューヘン

タイトル：地域環境活動を通して地域共生と生物多様性に貢献しよう

活動事例・概要

- 地域との触れ合いを通して、地域に根ざした環境活動をおこなっています。
- 豊かな自然を後世に引き継ぐための保全活動をおこなっています。
- 家族参加型による家族サービスや子供たちへの、環境保全の大切さ等教育に寄与しています。
- 清掃・植栽活動等を通し、生物多様性に貢献しています。

取り組みのきっかけ・背景・苦労した点

当社では、2005 年の ISO14001 認証取得をきっかけに、2007 年 6 月より、地域環境活動の一環として会社の拠点である福津市アダプトプログラム（通称：里親の会）へ参加し、活動しています。参加当初、年間 200 名程だった参加者が、現在 350 名程まで増え、活動が社内全体に浸透し、個人の地域環境活動への参加意識が向上しました。また、近隣地域の方々からも活動に対して、感謝のお言葉を頂いております。

活動事例の説明

活動は月 1 回、①福間海岸（ウミガメ産卵場所付近）、②東郷公園（国定公園）、③あんずの里（総合公園）の 3 カ所を月ごとに場所を替え、清掃活動をおこなっています。



『 福間海岸 』



『 東郷公園 』



『 あんずの里 』



メッセージ

地域環境活動および、生物多様性の保全活動を通して、社会に信頼され、発展し続ける企業をめざします。

事例 No. 3

会社名：西部電機株式会社

タイトル：桜の木植樹による地域貢献活動

活用事例 概要

当社は工場周辺に 60 本の桜の木を植樹しています。市の景観整備の一環として、地域住民や自然環境との調和を図っています。

取組みのきっかけ・背景、苦労した点

1990 年、新工場の落成と翌年の大阪証券取引所第二部上場とを併せた記念として、工場周辺に桜の木を植樹しました。古賀市の道路整備との一連の整備事業であったため、当時は大きく注目されました。桜の木は遊歩道を覆うほど大きく成長するため、通行の妨げにならないよう景観と安全性を保ちながら、定期的に剪定を実施しています。

活用事例の説明

開花シーズンには LED 照明でライトアップを実施しています。いっせいに咲き誇るソメイヨシノの景観は圧巻で、地域の皆様だけでなく、JR の車窓からも眺めることが出来、桜の名所として古賀市のホームページにも紹介されています。



メッセージ

西部電機が「我々のロマン」として掲げるスローガン「我々は技術の本質を謙虚に探索し、自然随順に即した応用で広く世界に貢献しよう」は、好不況にかかわらず、ロマンを胸に、機械文明と自然が共存し得るとの信念で、謙虚さと誇りをもって製品を作り、広く世界に貢献することを宣誓しています。

事例 No. 4

会社名：株式会社正興電機製作所

タイトル：清掃活動による地域貢献取組み

活用事例 概要

ラブアース・クリーンアップ活動として、本社周辺、古賀海岸、他地区の清掃を行い、地域貢献活動を行っています。

取組みのきっかけ・背景、苦労した点

当社は、特別非営利活動法人「NPO クリーンふくおかの会」の呼びかけに賛同し、平成18年6月の「ラブアース・クリーンアップ2006」より、海岸、公園等の一斉清掃に企業として参加しています。

活用事例の説明

清掃活動の様子（本社周辺）



清掃活動の様子（古賀海岸）



参加者での撮影（本社）



参加者での撮影（古賀海岸）



メッセージ

ラブアース・クリーンアップによる清掃活動は、町や海岸がきれいになるだけでなく、生物多様性活動にも貢献します。今後も、地域貢献の一つとして、清掃活動を続けていきます。

事例 No. 5

会社名：株式会社戸上電機製作所

タイトル：清掃美化活動

活動事例 概要

地域貢献活動の一環として、さわやかマイタウン SAGA（アダプト・プログラム）活動に参加し、定期的に会社周辺の清掃活動を行っています。
また、佐賀県下一斉ふるさと美化活動などにも積極的に参加しています。

取組みのきっかけ・背景、苦労した点

佐賀市が進める「さわやかマイタウン SAGA」とは、佐賀市が市民と協働で進める活動で、自分の選んだ公共の場所を、自分の好きな時に、自分のできる範囲で清掃活動を実施するというものです。当社は、佐賀駅や佐賀市中心部に近い立地であることから、定期的に周辺歩道や敷地内の清掃活動を実施しています。

県下一斉ふるさと美化活動は、“佐賀県環境の保全と創造に関する条例”に基づく「環境美化県民行動の日」に実施され、毎年社員が参加し、周辺の清掃活動を実施しています。

活用事例の説明

さわやかマイタウン SAGA
参加団体の掲示板



佐賀県下一斉ふるさと美化活動の様子
約 2 時間周辺地域を歩きながら清掃活動をしています



メッセージ

世界的問題となっているプラスチックゴミは、河川を経由し海に流れ込んでいるとのこと。
周辺地域の清掃活動は、河川へのプラスチックゴミ流出防止に貢献できる身近な活動であり、
「社会を・地球を・未来を豊かに」のスローガンのもと、今後も継続していきます。

事例 No. 6

会社名：株式会社安川電機

タイトル：FSC®認証紙の採用拡大

活用事例 概要

当社では、コピー紙や名刺について環境に配慮した紙への切り替えを完了しておりましたが、2018 年度からは一部パンフレットについて FSC 認証紙※の採用を始めました。

※FSC 認証紙：国際機関 FSC（Forest Stewardship Council®）が認証した、森林の環境保全に配慮し、地域社会の利益にかなう、経済的にも継続可能な形で生産された紙。

当社ライセンス番号：FSC N003070

取組みのきっかけ・背景、苦労した点

当社では、「紙購入ガイドライン」を定め、取組みを社内報等で周知しました。

「紙購入ガイドライン」

森林資源の持続可能な利用に配慮した木材を原材料とした紙を優先的に購入する。その優先順位は以下のように定める

1. FSC 認証取得 または 100%再生紙（R100）であること。
2. 他の信頼できる認証制度による認証紙であること。
3. 紙の原材料である木材の法律や規制が順守されていることが確認できること。また、環境・社会面での問題があると判断された企業によって生産された紙製品は購入を避けること。

活用事例の説明



YASKAWA NEWS



YASKAWA Solution Factory（見学パンフレット）

メッセージ

今後も「紙購入ガイドライン」に基づき積極的に FSC 認証紙を採用し、消費者として世界の森林保全を間接的に応援します。

Memo

【JEMA 環境ビジネス部での取り組み】

JEMA が参加する電機・電子 4 団体 (JEMA、JEITA、CIAJ、JBMIA) にて
生物多様性 WG を発足し、生物多様生保全活動の推進のための様々な
取り組みを行っています。全国の取り組み事例など、ぜひご参照ください。

JEMA 生物多様性保全 WEB サイト→



～おわりに～

私たちの暮らしを支える生物多様性を次世代に
引き継ぎ、事業を将来に渡って継続するために、
できるところから取り組みをはじめてみましょう。

【2020 年度 JEMA 九州支部 環境委員会】

委員長	柏木 洋一	株式会社戸上電機製作所	品質保証部 TQM 推進グループ
副委員長	龍 政彦	株式会社安川電機	生産・業務本部 環境推進部
メンバー	梶 智大	株式会社キューヘン	品質保証部 品質保証グループ
	安武 一成	西部電機株式会社	生産技術部 生産技術課
	寺坂 理実一	株式会社正興電機製作所	事業統括本部 品質保証部
	永吉 修明	九電テクノシステムズ株式会社	品質保証室
事務局	松尾 茂	一般社団法人 日本電機工業会	九州支部
	林 和也	一般社団法人 日本電機工業会	九州支部

～生物多様性保全と地域共生活動の紹介～ 第1版

第1版 2020年6月

企画・発行 一般社団法人 日本電機工業会 九州支部
〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2丁目1-82 電気ビル北館10階
電話 092(761)4778 FAX 092(751)2094

《無断掲載禁止》